SEIDANREN 生団連
国民生活産業・消費者団体連合会

生団連ニュースレター Vol.88

生団連ニュースレターでは、「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、
様々な活動に取り組む生団連の最新情報を皆様にお伝えしています。

2022年9月号

北海道生団連発足会　開催

2022年7月22日(金)、札幌プリンスホテルにて北海道生団連発足会が開催されました。
2021年7月「埼玉生団連」発足を皮切りに、今年５月には「大阪生団連」を発足し、この度「地域生団連」の第三弾として「北海道生団連」が発足しました。

生団連の小川賢太郎会長は、「北海道の地で皆さんと一緒に、生団連の理念である『国民の生活・生命を守る』ための具体的方法についてを地域が抱える問題も踏まえながら議論し、政策提言としてまとめていくような活動を行っていきたい。」と北海道生団連への意気込みを熱く語られました。
また、北海道生団連髙田会長からは「北海道の特性を活かせるような取り組みを行っていく。国民の課題に生活者の視点で取り組み、私たちの住むこの地域の発展と人々の利益の擁護、増進に繋げて参りたいと考えている。」とお話いただきました。

▲生団連　小川会長

▲髙田安春会長
（札幌消費者協会　会長）

▲似鳥昭雄副会長
（株式会社ニトリホールディングス　会長兼CEO）

【北海道知事　鈴木直道様　ご祝辞】

「時代の分岐点のもと、地域生団連が北海道に設立されるというのは、非常に重要かつ大変心強く思っているところでございます。北海道の潜在力を最大限生かした中で、国家の貢献のみならず、環境と経済の好循環を北海道で図っていく、こうした政策について皆さんと共に議論をして北海道を前に進めていくことができればこんなに嬉しいことはございません。」

大阪大学にて大学生と財政について議論

７月27日（水）大阪大学にて大学生と国の財政について議論を行いました。

大阪大学経済学部堂目ゼミにお伺いし、大学生と国の財政について議論を行いました。「国家財政の見える化」委員会の国民に対する意識喚起活動と財政に関する意識調査の一環として、財政に関する講義とディスカッションに取り組みました。学生からは「行政の情報発信が不十分」・「生まれてからこれだけ借金が増えていることを知り、ショッキングだった」といった実感のこもった意見が多数寄せられました。また、堂目教授からは「単なる啓発ではなく、様々なステークホルダーを巻き込んだ議論の場の形成を期待する」とのコメントを頂戴しました。

▲堂目教授
（大阪大学栄誉教授）

▲講義の様子

▲ディスカッションの様子

オンラインイベント開催 「暮らしを守るエネルギーを考える」

「エネルギー・原発問題」委員会では4月からウェブマガジンGreenz.jpにて連載企画「わたしたちの暮らしを守るエネルギー」をスタートしています。この企画の一環として8月8日（月）にオンラインイベントを開催いたしました。

イベント概要
■開催場所　オンライン会議ツール「zoom」
■定員　50名程度
■ゲスト　いとしまシェアハウス（エネルギー自給自足）志田浩一さん
　　鳥取風力発電適正化研究会　徳本修一さん
■共催
国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）
NPO法人グリーンズ

参加者アンケート抜粋

- エネルギーに限ったことではないが、単なる消費者ではなく細やかでも生産者になるべしという話は非常に示唆に富んでいた。暮らし方を変えることで意識を変えていくことは解決策の一つになりそう。
- 再エネが良いという世の風潮の中、建設の対象となっている地域の方々のリアルなお話が伺えよかった。ポータブルな太陽光パネルがある事も知らなかったので、すこしでも何か取り入れられる事が無いか考えてみようと思った。

SDG s CONNECTにてインタビュー記事掲載

SDG s CNNNECTよりインタビューを受けました。
「外国人の受入れに関する委員会」の担当である事務局員２名が「外国人の受入れ」についてお答えしています。
現在の課題感や生団連の活動、今後の目標を話しておりますので是非、ご覧ください。

URL：https://sdgs-connect.com/archives/50429

SEIDANREN 生団連
ニュースレター
【お問合せ先】
国民生活産業・消費者団体連合会(生団連)　小坂　出水　☎：03-6833-0493　✉：jimu@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階　　URL：https://www.seidanren.jp/